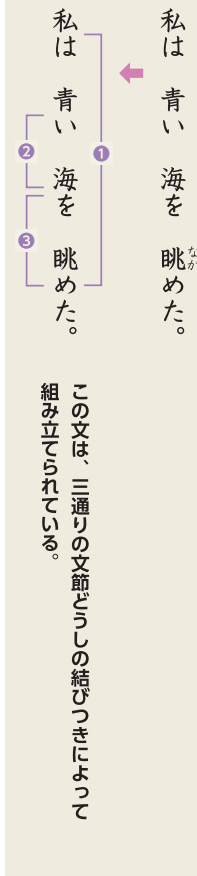


例題 次の各文の——部と——部の文節どうしの関係は、ア主語・述語の関係、イ修飾・被修飾の関係のどちらか。記号で答えなさい。

① 子どもがいきおいよく走り回る。
 ② ようやく先頭集団に追いついた。

例題の答え
 ① ア ② イ

文は、文節どうしがさまざまな関係で結びつくことで組み立てられる。

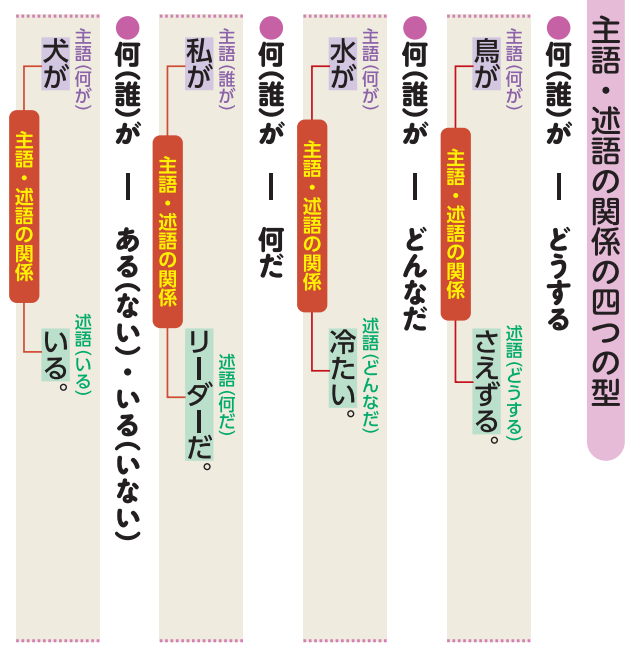


文節は、文の中で**主語・述語・修飾語・接続語・独立語**の五つの働きをし、それぞれの働きによって、文節どうしの関係が決まる。

文節どうしの関係には、**主語・述語の関係、修飾・被修飾の関係、接続の関係、独立の関係、並立の関係、補助の関係**の六種類がある。

主語・述語の関係

「何(誰)が」にあたる文節と、「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある(ない)・いる(いない)」にあたる文節との関係。「何(誰)が」にあたる文節を**主語**(だれ)、「どうする」などにあたる文節を**述語**(どう)という。主語・述語の関係は、次の四つの型に分けられる。



主語には、「何(誰)が」の形だけではなく、「何(誰)は」「な」の形もあるよ。

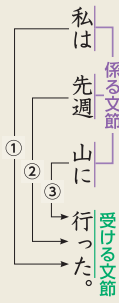


修飾・被修飾の関係

「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どのよう」などの文節の内容を詳しく説明する文節と、説明される文節との関係。ほかの文節の内容を詳しく説明する文節を**修飾語**(しゆしご)、説明される文節を**被修飾語**(ひしゆしご)という。



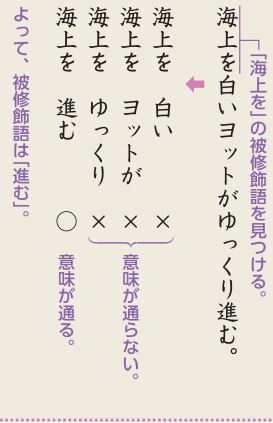
チェック！ 文節の係り受け
 文節どうしが結びつくとき、ほかの文節に働きかける文節に係る文節といい、その対象となる文節を受ける文節という。



- ① 「私は」は、「行った」に係る。(「行った」の主語を表す)
- ② 「先週」は、「行った」に係る。(いつ「行った」かを表す)
- ③ 「山に」は、「行った」に係る。(どこに「行った」かを表す)

チェック！ 被修飾語の見つけ方

修飾語をほかの文節と一つずつ続けて読み、意味が通る文節が被修飾語。



コラム 複雑な係り受けの文

「明日は短縮授業で四時間目までで終わりで、体育は水泳で水着を持ってきてください。」

こんな連絡を早口で言われたら、少しわかりにくそうですね。

主語 述語 「明日は 短縮授業です。」
 主語 修飾語 述語 「(授業は) 四時間目までで 終わります。」
 主語 述語 主語 述語 主語 述語
 体育は 水泳です。
 主語 修飾語 述語(≒23ページ) (全員) 水着を 持ってきてください。」

このように、主語・述語や、修飾語がどの語に係っているかがわかりやすいよう、文の組み立てを意識しましょう。